



インフルエンザ予防接種の費用を助成します



市ホームページID.1004873

問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9720）

新型コロナウイルスワクチンと間隔を空けずに接種することが可能です。

実施期間 10月1日(土)～翌年1月31日(火)

医療機関により、接種可能な期間が異なる場合があります。予約が必要な場合もあるので、事前に接種を希望する医療機関へ確認してください。また、実施期間中でも、ワクチンが無くなった場合は接種を終了します。

中学3年生・高校3年生

事前申請必要

- 対象** 保護者の住民票が帯広市にある中学3年生と高校3年生
補助額 1500円（1人1回のみ）
申し込み 接種前に保護者による申請が必要。（表1）
申請に必要なもの ※窓口で申請する場合のみ必要
 ▶保護者の住所が確認できる書類（運転免許証・健康保険証など）
 ▶生徒の生年月日が確認できる書類（健康保険証・学生証など）

65歳以上の高齢者など

事前申請不要

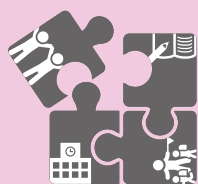
- 対象** ①接種日時時点で65歳以上の人
 ②60歳以上の人で、心臓、じん臓、呼吸器機能、HIVによる免疫機能に障害がある人（障害等級1級程度）
自己負担額 1100円（1人1回のみ）
 ※生活保護受給者は、生活保護受給証明書を医療機関へ持参することで、自己負担額が免除となります。
持ち物 ▶氏名、生年月日、住所を確認できる書類（健康保険証など）
 ▶②に該当する人は、身体障害者手帳（1級）などの障害の程度を確認できる書類

表1 中学3年生・高校3年生の申請

受付	受付期間	受付時間等
保健福祉センター（東8南13）	10月3日(月)～10月31日(月)の平日	10時～12時、13時～17時
川西支所（川西町西2） 大正支所（大正本町西1）	10月3日(月)～12月28日(水)の平日	8時45分～12時、13時～17時30分
ウェブWEB申請	9月26日(月)～12月28日(水)	申請フォームや郵送先などの詳細は、市ホームページをご覧ください。
郵送申請		

表2 令和4年度インフルエンザ予防接種実施医療機関

医療機関	電話番号	医療機関	電話番号
あおやま内科クリニック	38・3131	とかち消化器内視鏡クリニック	37・8055
あがた内科循環器クリニック	49・0200	十勝ヘルスケアクリニック	58・3311
いしかわ耳鼻咽喉科クリニック	24・1717	ながい内科医院	36・5578
いとう内科クリニック	67・8375	西おびひろ脳神経クリニック	35・2055
いなば内科呼吸器科	23・1635	西村内科クリニック	47・4787
いのちの木クリニック	49・3622	ハートサウンズもりクリニック	58・5077
イワタクリニック	36・7556	林内科クリニック	48・7711
うしおだ健康クリニック	65・5511	本庄内科クリニック	66・9616
おおた内科循環器クリニック	66・7152	満岡内科循環器クリニック	48・9111
おく内科消化器クリニック	66・6170	山川内科医院	24・3181
帯広耳鼻咽喉科	22・1928	横手内科クリニック	35・7155
帯広泌尿器科	38・2000	新井病院	24・6767
帯広南の森クリニック	49・3400	帯広光南病院	47・4811
坂野産科婦人科	26・1188	帯広西病院	37・3330
さとう内科循環器科クリニック	24・3103	開西病院	38・7200
さらい内科循環器科クリニック	21・0381	協立病院	35・3355
しばた腎泌尿器科クリニック	67・1414	十勝勤医協帯広病院	21・4111
しばた整形外科クリニック	24・4203	中3・高3のみ実施	
自由が丘みくに耳鼻咽喉科	38・3387	みなみ町こどもクリニック	49・3300
進藤医院	23・3251	慶愛病院	22・4188
新緑通りはやし内科	33・0077	高齢者のみ実施	
須藤内科クリニック	33・2800	おがわ循環器内科クリニック	49・0088
大正クリニック	63・3001	こしや糖尿病・内科クリニック	28・5001
たかはし内科・呼吸器内科クリニック	20・5656	福井皮膚科医院	25・4404
たけざわ耳鼻咽喉科	41・2001	めぐみ乳腺クリニック	67・5027



学校と地域でつくる学びの未来

地域学校協働活動を紹介します！

問い合わせ 学校地域連携課（市庁舎8階、☎65・4162）

●令和4年10月、すべての市立学校がコミュニティ・スクールになります
 コミュニティ・スクールとは、地域全体で子どもの豊かな成長を支える仕組みづくりを進めるため、校長先生のほか、保護者、ボランティア、コーディネーターなどの地域の人たちで構成する協議会を設置した学校のことです。帯広市では、令和元年より全校導入に向けて取り組んできました。

●地域学校協働活動を紹介します
 コミュニティ・スクールで共有された目標に向かい、保護者や地域住民、学生、企業などの参画を得て、子どもの学びや育ちを支える地域学校協働活動を推進しています。
 以下に地域学校協働活動の一部を紹介します。

まちづくり・ふるさと学習



ふるさとや地域資源について地域住民などから学び、自ら調べたり発表したりする学習など

学習・教育支援



夏・冬休みに行う学習支援や、学習に困り感のある児童生徒を対象に行う放課後学習支援など

子どもの安全に関わる活動



登下校の見守り活動や交通安全教室、通学路の安全点検、保護者・地域住民によるパトロールなど

放課後子ども広場



放課後や休日に子どもが安心して遊べる場所と、さまざまな体験や交流等を通じた学びの機会の提供など

図書ボランティア



学校図書を通じた豊かな学びの機会の提供（読み聞かせ、朝読書の見守り、図書の補修・ポップ作成）など

地域行事などへの参画



学校と地域が一体となったお祭りや防災教室などの開催や夏休み中のラジオ体操など

消費者問題の無料弁護士相談会 契約トラブルなどの消費者問題に弁護士が無料で相談に応じる。 日 10月21日(金)、13時30分～15時 定 先着3人（1人30分） 場 10月13日(木)までに、直接または電話で消費生活アドバイスセンター（西4南13、とかちプラザ内、☎22・8393）へ。